



## 寒さの中にも、春の訪れが

冷たい空気から体を守ろうと、毎朝様々な防寒対策をしながら子供たちは元気に登校しています。大人である私も負けずに寒さに体を縮めながらも毎朝のあいさつ運動に励んでいます。正直なところ、子供たちの何倍も暖かい春の訪れを待ち望んでおります。そこで、『暦の上では春の訪れが・・・』にまつわるお話を・・・

今年は、2月3日が「春が立つ」と書いて春の季節の始まりとされている「立春」です。昔の暦では、この頃が1年の始まりであるとされていたようです。江戸時代の頃からは、毎年立春の前日を「節分」というようになったそうです。「節分」（今年2月2日）は『一年間健康に過ごせるように』という願いを込めて『悪いものを』追い出す行事として、それぞれの御家庭で、「豆まき」や「恵方巻き」などのイベントを実施されたのではないのでしょうか。

また、長く厳しい冬が一段落して、春の訪れを待ちわびる気持ちは、昔から歌として歌われてきました。「春よ来い」「春が来た」「花（春のうららの隅田川・・・）」などです。長い冬の後に来る春の穏やかな季節は、厳しい冬の暮らしを過ごしている人たちにとって昔から変わらない大きな喜びであり、その前の節分は春を迎えるために、昔からある大切な行事なのですね。

さて、学校では学年末（そして新学年）に向けて、現学年の学習のまとめなど一歩ずつ準備をしていきます。少しずつ訪れてくる春の季節を感じながら、子供たちとがんばっていきたいと思います。



### 「ふれあいジャンプ大会」より

2月1日（土）、「ふれあいジャンプ大会」（玉島東中学区青少年を育てる会主催）が、玉島東中学校グラウンドで開催されました。この大会は、玉島東中学校区の小中学校5校によって長なわ跳びの回数を競い合う、毎年恒例の大会です。本校からは校内予選会の結果低学年の部に、3年A組Aチーム、4年B組Aチーム、高学年の部に、5年A組Aチーム、6年A組Aチームの4チームが参加しました。各チームとも、この日までに練習を積み重ねた成果を発揮しようと気合が入っていました。時間内に順々に跳んでいって総回数を競い合う「8の字跳び」は、いかにみんなの気持ちが1つに揃えられるかが大切です。どのチームも声を掛け合いながら、集中して2分間跳び続けていました。結果は、なんと低学年の部も高学年の部も上成小学校のチームが圧勝しました。また、大勢で一斉に大なわを跳んで回数を競い合う種目では、大人の方も加わり、とても盛り上がりました。

寒い日が続きますが、これからも楽しみながら運動を続けていけたらと思います。



### 参観日のお知らせ

2月19日（水）は、今年度最後の参観日と学級懇談日です。お忙しいとは思いますが、1年間の子供たちの成長をぜひ御参観いただければと思います。

授業参観 14:00～14:45

学級懇談 15:05～

詳しくは、学校から配付いたしました「参観日の案内」を御確認ください。



### 「耐寒ファミリースポーツ大会」について

2月9日（日）は、上成地区社会福祉協議会による主催行事である「耐寒ファミリースポーツ大会」が開催されます。この大会は、今年で47回を迎える冬場恒例の大会であり、『みんなで走って寒さを吹き飛ばそう！』をスローガンに、地域住民の体力づくりとコミュニティづくりのために実施されます。参加を予定されている方は、がんばってください。なお、午後からは、ソフトバレーボール大会が開催されます。

